
夜明け前より瑠璃色な

道成寺 沙耶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜明け前より瑠璃色な

【Nコード】

N3977D

【作者名】

道成寺 沙耶

【あらすじ】

湖の畔、彼女と二人で夜明け前の空を見ようと出かけてきた主人公。そこで地面に絵を描きながら、空を眺め、思う。

（前書き）

短いです。散文的。

ブログサイトがありますので、そちらもどうぞ。作者紹介ページから繋いでいます。

鮮やかに目を焼く斜光、月の光、産み出る朝日の輝きの。

夜明け前より瑠璃色な

ともかく今言えることは彼女と俺が此処にあるという事実だけで、それだけでも奇跡のようだと思えたのだ。祈るように。願うように。或いは他の何かを、望むように。

彼はただそこにいるだけなのであり決して何かを模倣しているという訳ではなかった。けれどその行為は何か、何処かを真似るように繰り返す行為でありそれでいてなんにでもならないというもので、結局は無に帰る、それだけのものであった。暁を覚える空が徐々に明るみを増して、うつくしく、うつくしく湖の蒼をそらんじて映し出す。何処までも済んだ蒼の塊、ただっ広い二人だけの湖には光が差し込み、冷え切った水面をきらきらと反射させた。もう何度も見た光景なのだけれども、それでもそこには何ひとつ同じものなどなかった。知っている。それでも何度も諦めずにそれを掴もうとするのは、願おうとするのは、愚かなことだろうか。

それでも彼は幾度もこの空を描くのであり、遠い記憶になぞらうようにこの空を見ている。うつくしいという感情は誰が名づけたのか、

それはわからないけれども、それでも今は共感できるとさえ思えたのだ。彼が今手に持つのはさして明るくもなどないちっぽけな未来で、それから隣に寄り添う彼女であり、あとはただなけなしの人間模様だ。それから、ちいさな棒切れを持っている。何を描くというわけでもない、けれど描かないというわけでもなかった。ただ彼の足元には薄くかき消された何かのあとがあつて、ぐしゃぐしゃにつぶれた砂模様が伸びきった雑草の蒼さに邪魔されてよくは見えないが、何度も何度も、繰り返し描かれた跡だった。それは彼がただひとつ思いあげた何かを示すもので、彼はそれをいとも間違つてしまつたかのように消去してしまっている。本当は、そこには何一つ間違つたものなど、いけないものなど、何処にもないというのに。けれども彼はまだ気づかない。

もしも気づくとしたら、それはきつと十年も数十年も後のことであろう。彼は悩むのだが、答えは出ない。そこに答えなどありはしないのだから。彼はただ、湖畔、せせらぐ水の香りに埋もれて、明けゆく空を見ている。寄りかかる彼女はまだ目を開けない。安らかに、ただ、緑に囲まれて、そこで暖かな命の温もりを彼に与えているのだ。やわらかく主張する彼女の心音は、ただ、緩やかに留まることなく回り続ける。いつか、この風景さえも思い出になるだろう。そのときまで、待てばいい。訪れてくれると願う。

そうして、朝が。朝日が漸く重たい腰を上げて、空を支配しようと足を踏み出した。じいっと待ち構える地平線の彼方に、赤の片鱗がちらついて現れる。蒼と、赤の壮絶なキャンパスの中に、一際の輝きを乗せて太陽が姿を見せた。明るく、この蒼と交じり合う金色の光が。見上げれば遥かに高い瑠璃色の世界。渦巻く青い風を取り巻いて、ただ、抜けるほど高く、丸く、そこに立ちすくんで待っていた。ただ、口を閉じて、しとやかに。いつか彼女にも伝えられるだろうか。この空がうつくしいこと。描く何かを言葉にすること。今、

このうつくしさを、思うがままに彼女の記憶の中に、留めておけたら。

仰ぐ、夜明け前の空。この空より瑠璃色な空なんて、二度とない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3977d/>

夜明け前より瑠璃色な

2010年12月28日02時05分発行